

〔男子準決勝A〕

船橋市立 葛飾中学校 (船橋)	5 6	}	6 5	千葉市立 椿森中学校 (千葉)
		$\left. \begin{array}{l} 12-17 \\ 13-11 \\ 13-20 \\ 18-17 \end{array} \right\}$		

【評】

スタートは両チーム共にハーフコートマンツーマン。葛飾は、椿森#4清水に対して、フェイスガードを仕掛ける。1Q葛飾は、#5村上や、#7松下のカットインで得点を重ねる。一方の椿森は#5村上を中心としたオフェンスを展開。インサイドや3Pなどで得点し、12対17の椿森リードで1Qを終える。第2Qは、椿森が#5村上のインサイド、#6井口のカットイン、3Pなどで得点するが、#4清水が2つ目のファールからベンチに下がったため、うまくオフェンスの流れをつかめない。葛飾は固いディフェンスから流れをつかみ、#5村上、#7松下、#9石井がカットインから得点を重ね、3点差に詰め寄り、前半を終える。

3Q、椿森は#4清水をコートに戻し、ディフェンスの圧力を強め、速攻につなげるなど流れを引き寄せる。#4清水、#5村上、#6井口が効果的に得点する。葛飾も#5村上のカットインや3P、#7松下のジャンプシュートなどで得点するが、10点差に離され、3Qを終える。4Qがスタートし、椿森#5村上が4つ目のファールを犯し、ベンチに下がってしまう。それをきっかけに葛飾は流れを引き寄せ、#5村上、#8三浦、#9石井がカットインからの連続得点で残り3分で1点差にまで迫る。椿森はたまたず#5村上をコートに戻し、流れを引き戻しにかかる。#4清水がここからカットインからの連続バスケットカウントを獲得し、葛飾を引き離す。葛飾もディフェンスの圧力を強め、ボールに対するプレッシャーをかけるが、椿森はその後、#4清水を中心としたオフェンスを展開し、56対65で椿森が勝利を収めた。敗れたものの、最後まで諦めず走りぬいた葛飾の選手たちの健闘を称えたい。

〔男子準決勝B〕

八千代松陰中学校 (八千代)	1 0 3	}	3 6	松戸市立 常盤平中学校 (松戸)
		$\left. \begin{array}{l} 31-4 \\ 34-6 \\ 25-12 \\ 13-14 \end{array} \right\}$		

【評】

両校共にハーフコートマンツーマンでスタートした。八千代松陰がディフェンスからファーストブレイクを続け、#4菊谷の速攻からのレイアップ、#5小張のドライブインなどで得点を重ねた。常盤平は#6丹治のフリースローで得点するが、流れをつかみ切れず、常盤平はタイムアウトを請求、何とか流れを取り戻そうとするが、第1Qは八千代松陰が31-4でリードして終えた。

第2Qに入ると、八千代松陰が粘り強いディフェンスで流れをつかみ始め、#4菊谷のスティールから速攻、#8和知のゴール下で得点を重ねていく。一方、常盤平は#7丹治のドライブから連続得点するが、八千代松陰のディフェンスからファーストブレイクに対応できず流れを止めることができない。第3Qに入ると、常盤平は果敢にドライブを試み、#17南のスリーポイントから始まり、流れをつかもうとするが八千代松陰の#17永島のドライブやディフェンスを崩せず得点を重ねることができなかった。3Q終盤、常盤平は#17南のミドルシュート、ドライブから得点するが、それに対して、八千代松陰は#8和知と#13小野のプレイを中心に攻撃し、常盤平を大きくリードし始める。

第4Qに入り、常盤平はスクリーンプレイを生かしたパスを中心に攻め、八千代松陰のディフェンスを崩しにかかる。一方、八千代松陰は堅いディフェンスを続け、常盤平の追撃を許さなかった。終始、集中力を切らすことなく、ゲームをリードして進めた八千代松陰が103-36で見事勝利し、2年ぶりの決勝に駒を進めた。最後まで諦めずに戦った常盤平の選手たちにも拍手を送りたい。